

はるの里 通信

発行元 〒615-8241 京都市西京区御陵谷町7-1
 社会福祉法人はるの里 TEL/FAX 075-394-5930
 生活介護事業所はるの里 URL <https://www.harunosato.com>

題字：山下公子さん

はるの里通信秋号のお届けです。今号は11月に開催される「はるの里まつり」のお知らせや、グループの新たな活動の様子を載せています。ぜひご一読ください。

まつりに関して
詳しくは6ページ目をご覧ください！

第23回

はるの里まつり

～ つたえあい つながって ～

日時： 令和7年 11月16日(日)
10:30 ~ 14:00

場所： はるの里 (雨天決行)

お知らせ

いつも空き缶の提供、回収にご協力いただきありがとうございます。
 2025年2月～9月のリサイクル活動による収益は65,100円でした。収益金は仲間たちの給料となります。

きょうされんの夏のカタログ販売で100件を超える個人・団体の方にお買い求めいただき、130万円を超える売り上げがありました。純利益が仲間の夏のボーナス支給になりました。ありがとうございました。

～職員募集～

募集形態：正規職員・パート

仕事内容：障害のある方たちへの日

中支援(特に男性)・運転

朝夕の送迎ドライバー(ハイエース)も

募集しています！詳しくは担当者まで

TEL：075-394-5930 担当：出田・村井

ご寄附

お名前の記載許可をお聞きできなかった方はイニシャル表記にさせていただきます。

Iさま 金一封
 Kさま 金一封
 Iさま他 金一封
 Iさま お菓子
 Kさま 飲料
 Nさま 衣類
 Sさま 金一封

バナナ加工組合 バナナ
 円応教さま 金一封
 京建労西京支部 金一封
 ほっこりサロン 金一封
 松陽社会福祉協議会 金一封

ありがとうございます

分断ではなく
つたえあい、つながる社会へ

“ 節目の年 ”

秋の風が心地よい今日この頃です。今年、様々な出来事の節目となる年です。阪神淡路大震災から30年、昭和100年、そして戦後80年です。80年前の大きな戦争で2000万人以上の方が犠牲になりました。世界に目を向けるとウクライナやガザで多くの市民が戦火に巻き込まれ、命を落とされています。

日本では、「日本人ファースト」の言葉に代表されるように、自国民ファーストを主張し、外国の方や既存の価値観を否定する風潮が広がっています。対立や分断の先に何かあるのでしょうか。朝の連続テレビ小説「あんぱん」の主人公やなせたかしさんの言葉に「正義のための戦いなんてどこにもない」「困っている人がいれば分かち合う」という言葉があります。対立ではなく”対話“戦争ではなく”平和“を希求する未来になることを切に願っています。

“ いままで仲間と一緒に ”

はるの里は、現在16名の仲間が通所されています。4月は19名の仲間です。スタートしましたが、3名の方と別れることになりました。なかでも5月に仲間の一人がお亡くなりになるという辛く悲しい経験をしました。ご家族から愛情いっぱい育てられ、食べるのが大好きで、ふいに見せる笑顔が愛おしい仲間でした。私たちは、あなたの笑顔を忘れません。天国で、大好きなお菓子を口いっぱい頬張りながら、はるの里のことを見守り続けてほしいと思っています。

涼風に誘われて、屋外での散歩を再開しました。夏は、屋内散歩と称してお気に入りの音楽をかけながら、室内で体を動かす機会を作りました。音楽が流れている間は体を動かしているの、結構な運動量になります。その成果もあり、屋外での散歩を再開すると以前よりも歩く距離が伸びた仲間もいます。秋は、心も体も元気に、楽しい秋を満喫していきたいです。

“ つたえあい つながって ”

秋は、まつりの季節です。昨年、コロナ禍で中止していた“はるの里まつり”を5年ぶりに開催しました。今年もはるの里まつりを開催いたします。先月、第1回実行委員会が行われました。実行委員会には、地域の自治会や社会福祉協議会、民生児童委員協議会にもご参画いただき、地域の皆さまとご一緒にまつりを創っています。実行委員会のはじめに話し合うことは、まつりで大切にしていることを確認し、テーマを考えます。まつりは「仲間が主人公」「地域とつながり」の2つのことを大切にしています。

そのことを踏まえたうえで、今回のテーマは、前回に続いて「つたえあい つながって」に決まりました。冒頭に述べたように、特定の誰かを排除するのではなく、障害のあるなしに関わらず、子どもも大人も、様々なルーツを持つ人も誰もがまつりに集い、繋がりをあえる楽しいまつりにしたいと思っています。まつり当日にお会いできるのを楽しみにしています。

施設長 出田 裕

会計報告

資金収支計算書

2024年4月1日～2025年3月31日

勘定科目	決算
サービス活動収益計	62,918,423
サービス活動費用計	56,808,114
サービス活動増減差額	6,110,309
受取利息配当金収益	40,704
その他のサービス活動外収益	385,325
サービス活動外収益計	426,029
支払利息	565,210
その他のサービス活動外費用	
サービス活動外費用計	565,210
サービス活動外増減差額	△139,181
経常増減差額	5,971,128
当期活動増減差額	5,971,127
前期繰越活動増減差額	88,530,049
当期末繰越活動増減差額	94,501,176
次期繰越活動増減差額	94,501,176

資金収支計算書

2024年4月1日～2025年3月31日

勘定科目	決算
事業活動収入計	62,702,000
事業活動支出計	57,909,000
事業活動資金収支差額	4,793,000
施設整備等収入計	
設備資金借入金元金償還支出	3,240,000
固定資産取得支出	253,000
施設整備等支出計	3,493,000
施設整備等資金収支差額	△3,493,000
その他の活動収入計	
その他の活動による支出	75,147
その他の活動支出計	75,147
その他の活動資金収支差額	△75,147
当期資金収支差額合計	1,224,853
前期末支払資金残高	
当期末支払資金残高	1,224,853

貸借対照表

2024年4月1日～2025年3月31日

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	74,964,816	流動負債	6,691,053
固定資産	78,727,894	固定負債	31,105,000
		負債の部合計	37,796,053
		純資産の部	
		基本金	21,395,481
		国庫補助金等特別積立金	
		次期繰越活動増減差額	94,501,176
		純資産の部合計	115,896,657
資産の部合計	153,692,710	負債及び純資産の部合計	153,692,710

2024年度 はるの里後援会

会計報告

自2024年4月1日～至2025年3月31日

収入の部		支出の部	
摘要		摘要	
2023年度繰り越し	6,602,483	きょうされん賛助会費	18,000
受け取り利子	900	手数料	1,850
2024年度後援会	110,000		
はるの里まつりより	90,753		
		2024年に繰り越し	6,784,286
合計	6,804,136	合計	6,804,136

2024年度後援会費は 19人・団体より110,000円いただきました。

2025年度に 6,784,286円繰り越します。



支援物資を渡しました

9月17日、18日に能登半島地震支援活動に参加してきました。現地で見えたこと・感じたことを報告します。

現地に入るまでに至る所にブルーシートのかかった家屋が目に入りました。また、同時に道路の至るところが波打っていた、それに伴い通行止めの箇所が多かったです。震災から1年8カ月も経つのに復興がかなり遅れていて、完全復旧までには程遠い現状を目の当たりにしました。

能登支援活動の報告

2日目にははるの里も加盟している障害者団体きょうさんの加盟事業所に訪問してきました。簡易トイレなど物資を手渡し、事業所に通所されている仲間（利用者の方と写真を撮りました。仲間の方々は突然の訪問にも関わらず暖かく迎え入れてくださりました。また、大きな災害で大変な中でも仲間の方々が元気に、また真剣に作業に取り組んでいる姿を見ることができて、支援に来てよかったと感激しました。

能登半島支援センターには、カップ麺や飲み物などの支援物資をお渡しできました。支援センターでは、1週間単位で支援者を受け入れ、障害者施設などへの支援を行っています。支援は、活動のサポートや事業所への送迎、通院付き添いなどが行われています。

仮設住宅に住む方にお話を聞くことができました。「仮設住宅の住み心地はいが、倒壊した家をどうするか、この町で暮らしていいのか不安。公営住宅も建設されると聞いているが、高齢者が多く、低年金で暮らしている住民にとっては、家賃を払うことができない。」と話されていました。



仮設の木造住宅

事業所の理事長とのお話で、「復興はまだまだ半ば。様々な困難はあるが、全国からの支援が大きな力になっている。」と感謝の言葉をいただきました。

職員 大久保 寿行

第23回

地域みなさんとの楽しい交流ひろば

はるの里まつり

～ つたえあい つながって ～

日時： 令和7年 **11月16日** (日)
10:30 ~ 14:00

場所： はるの里 (雨天決行)

みなさん
お待ちしております
(^^) /

ステージ企画
軽食
自主製品販売

こどもコーナー
ミニバザー
はるの里紹介

バザー物品(新品の物に限る)提供のご協力をお願いします
ご連絡いただけましたら受け取りに伺います

まつりのお手伝いをしていただけるボランティアさんを大募集しています
下記連絡先までお気軽にご連絡ください



主催 はるの里まつり実行委員会
後援 西京区社会福祉協議会 松陽社会福祉協議会 京都新聞社会福祉事業団

〒615-8241 京都市西京区御陵谷町7-1
TEL/FAX 075-394-5930
生活介護事業所はるの里 はるの里実行委員会事務局

はるの里 りすグループ



りすグループはなかま4名、職員4名の少人数グループです。
令和7年8月からはマンションの1室を借り、活動しています。今回の通信では、りすグループの新たな
部屋「みんなのへや」での活動の様子を紹介したいと思います(*^^*)

9:30~
送迎車到着



制作



制作

毎月壁面飾りを作
成するよ♪



調理



製品作り

さまざまな 室内活動

午
前
の
活
動



お弁当

おいし〜い
うお安さんのお弁当



お弁当



ごみ集め



台拭き



散歩



缶つぶし

天気の良い日は散歩
に行くよ

12:00~
昼食・休憩



休憩・掃除

みんなで役割分担



腹筋もするよ〜



休憩



休憩



掃除機

午
後
の
活
動

15:40~
送迎車出発



社会とつながる 外活動



コップ洗い



自主製品の販売

りすグループの商品



ペットボトルキャップを再利用
した商品、牛乳パックを再利
用した商品などたくさんあるよ
(^^)/